

海洋ごみ問題について探究しているチームが絵本を制作しました。

高3生徒4名(小倉葵、坂本ひなた、筑紫莉里花、堀川咲希子)が、これまで行ってきた探究学習の成果として海洋ごみ問題啓発のための絵本を制作しました。この絵本は、一般社団法人みなのぼの協力、日本財団の援助を受け制作されたものです。タイトルは『解決できなかったわたしたちの問題 ~海とごみと高校生~/パットルと黒いかげ』で、両面が表紙という特徴的な絵本になっています。

生徒たちが実際に行った探究活動やそれに伴い見えてきた現実が左開きのページで進み、子どもたちに海洋ごみについて知ってもらうための物語が右開きのページで進む構成になっています。生徒の活動の紹介とともに未来の子どもたちへ伝えるメッセージ、2つの側面から海ごみ問題を考える本になっています。生徒たちの思いの詰まった渾身の1冊です。本校図書室や長崎県立ミライon図書館、長崎市立図書館でも近々読めるようになりますので、ご紹介いたします。

左開き表紙



右開き表紙



高3の代替魚粉を探究したチームが2つの賞をいただきました。

「バッタの代替魚粉利用に関する技術的及び社会的研究」を行っている高3探究チーム(黒岩夕綺・大渡玲央・大塚優斗・小川凜空)が2つの大会で大賞と最優秀賞を獲得しました。

1つ目は、探究の全国大会である第1回「自由すぎる研究グランプリ」で、イノベーション大賞を受賞しました。この大会は1次審査では大学生のべ1,000人、2次・最終審査では企業全8社の社員の方により審査をしています。下記のQRコードから大会ホームページに入れますので、具体的な内容はこちらからご覧ください。受賞後、主催者が来校されトロフィーの授賞式も行われました。その際の動画も、ホームページにありますのでぜひご覧ください。

2つ目は、9月5日(月)に宮崎市で行われた日本水産学会の高校生ポスター発表において、最優秀賞を受賞しました。全国から集まった12の研究の中での受賞です。今後、この研究内容は日本水産学会誌に掲載される予定です。



← ↑ 日本水産学会



自由すぎる研究
グランプリ
Web ページ